

## 花あふれるふくおか推進協議会（福岡県）

協議会構成団体：

福岡県、福岡県花き園芸連合会、全国農業協同組合連合会福岡県本部  
福岡県花き市場協議会、福岡県花商団体連合会

### 戦略品目

切り花：輪ギク、スプレーマム、バラ、トルコギキョウ、  
カーネーション、ガーベラ、ダリア、リンドウ、  
クルクマ

切り枝：ユーカリ

鉢もの：アジサイ、コチョウラン

花壇苗：パンジービオラ類、ガーデンシクラメン



輪ギク

### < 取組内容 >

#### 1 生産供給体制の強化

- ・ 緑色LED防蛾灯を用いた花壇用苗物のヤガ類被害軽減と防除コスト低減について実証し、収益性の向上を図った。
- ・ 秋ギクにおいて上位等級品の出荷率増加のため、効果的な炭酸ガス施用方法を実証し、収益性の向上を図った。

#### 2 流通の効率化・高度化

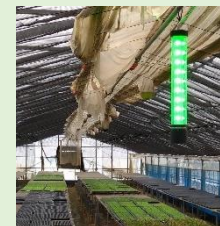
- ・ ユーカリの切り枝において鮮度保持剤を比較し、日持ち期間に影響するかを検証した。

#### 3 需要の拡大

- ・ 花のイベントやもの日、家庭での飾花を醸成するため、県内各地で県産花きをPRする消費拡大プロモーション活動を実施した。
- ・ 児童や生徒を対象に、戦略品目の県産花きを用いた花育教室、園芸福祉体験を実施し、若年層の新規需要の創出を図った。

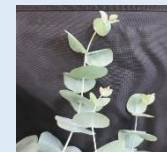
### < 取組の成果 >

- ・ 緑色LEDは開花期等への影響はなく、ヤガ類による被害株率は約5%低下した。一方で、防蛾灯の導入はヤガ類の被害低減に有効だが、被害による損失金額よりも導入経費は高くなる可能性が示唆された
- ・ 炭酸ガスの局所施用と密植の組み合わせにより、等階級比率は平均で24%上昇し、高い収益を確保出来ることが示唆された。



緑色LED防蛾灯を用いた花壇用苗物のヤガ類被害軽減

- ・ 今回、実証を行った鮮度保持剤は、慣行と比較して、同等の日持ち期間があり、経費を10a当たり約3万円削減できた。



ユーカリにおける鮮度保持剤の比較実証

- ・ 「ふくおかフラワーフェア」、「高校生花いけバトル福岡大会」等の消費拡大PR活動を実施した。また、この活動を基に県内花商を対象に消費動向調査を行った。
- ・ 花育、園芸福祉体験に参加した対象者（計468名）へのアンケート結果より、体験後に自宅で花を飾る機会が増えたと回答した人数の割合は、46%であった。



ふくおかフラワーフェア2022

### < 今後の取組予定 >

- ・ 生産供給体制の強化を図るため、輪ギク等の主要品目において、炭酸ガス施用による品質向上効果等を実証し、継続的に収益性の向上について検証する。
- ・ 県産花きの需要拡大を図るため、一般消費者向けには消費拡大プロモーション活動や家庭での花飾りに係る情報発信を行い、実需者向けには展示プロモーションによる認知度向上を図る。

## 佐賀県花づくり推進協議会 (佐賀県)

協議会構成団体：佐賀県農業協同組合、佐賀県花き生産団体連合会、佐賀花商組合、唐津花商組合、株式会社佐賀花市場、株式会社唐津花市場、佐賀県

### 戦略品目

切り花：キク、バラ、トルコギキョウ



### < 取組内容 >

#### 3 需要の拡大

##### 1. 消費拡大に向けたプロモーション

- 「いい夫婦の日に花を贈ろう」をテーマに、戦略品目等を活用したフラワーアレンジメントや県産花きを展示する「花の美術館」を開催した。
- また、父の日や敬老の日、クリスマス、バレンタインデーなどのイベントに合わせ、県内各所の公共施設等に県産花きを使用したフラワーアレンジメントを展示し、県産花きに親んでもらう機会を提供した。

##### 2. 花の教室の開催

- 花きに対する興味や理解を醸成するため、県産花きを用いた花の教室（フラワーアレンジメント教室）を開催し、花きのある生活空間に楽しさやうらおいなどを感じてもらうとともに、県産花きのPRや消費拡大を図った。

### < 取組の成果 >

- フラワーアレンジメントの装飾等により、来場者に花きのある生活の大切さや花きで心が安らぐことなどをPRすることができた。
- 「花の美術館」実施後にアンケート調査を行った結果（回答者547名）、82%の人から「生花店で花を購入したい」との回答が得られた。
- 駅や図書館等の公共施設にフラワーアレンジメントを展示することで、これまで花きに触れ合う機会が少なかった方にも花きに親んでもらい、県産花きや花贈りをPRすることができた。



「花の美術館」でのアレンジメント展示



駅でのアレンジメント展示

- 約200名の方が参加し、「親子で楽しめた」「自宅に飾りたい」等の感想を聞くことができた。
- 花の教室実施後のアンケートでは、「今後も花を購入したい」と回答した人は98%と、需要拡大が期待される結果となった。



花の教室の様子

### < 今後の取組予定 >

- 令和4年度は、県民に花きに親んでもらうイベントとして「フラワーフェスティバル」を開催するとともに、フラワーバレンタイン等の花きに関わる物日と合わせてフラワーアレンジメントの展示を行うことで、県産花きのPRや消費拡大を図る。
- また、花きを飾ることで楽しさやうらおいを感じて豊かな心を育むとともに、県産花きに対する興味や理解を深めるため、引き続き、花の教室を開催する。



## 長崎県花き振興協議会（長崎県）

協議会構成団体：長崎県花き振興協議会各専門部会（きく、カーネーション、ばら、洋ラン、鉢物、草花）、全国農業協同組合連合会長崎県本部、県内5JA、長崎花き園芸農業協同組合、佐世保花き園芸農業協同組合、佐世保青果株式会社、(株)諫早花市場、長崎県

### 戦略品目

切り花：きく、ガーベラ  
鉢物：ファレノプシス



### < 取組内容 >

#### 1 生産供給体制の強化

##### （低コスト・省力生産技術等の導入実証）

- ・ 輪菊栽培における日射比例灌水技術を実証し、良質切花の安定生産と灌水作業の負担軽減により生産者の所得向上を図る。
- ・ 2種類の灌水資材を用いて、日射比例灌水区と手動灌水区の切り花品質、作業時間、灌水量を比較した。

#### 1 生産供給体制の強化

##### （高品質化生産技術等の導入実証）

- ・ ファレノプシス栽培におけるLED補光技術を実証し夏季高温期の遮光管理下や秋冬期の低日照条件下での着輪数増加等による品質向上を図る。
- ・ 補光用LEDを用いて、照射区と無照射区の着輪数等の開花品質、5輪開花日を比較した。

#### 3 需要の拡大（消費拡大プロモーション活動）

- ・ 一般消費者を対象に、「重陽の節句（9/9）」と「いいママの日（11/6）」に合わせて、県産きくを用いたPR展示を行い、新規需要の創出を目指す。
- ・ 展示においては、県内各地の公共施設（県庁、市役所、図書館）で行い、広く周知した。

### < 取組の成果 >

- ・ 日射量に応じて、灌水量をコントロールでき、植物にとって過不足ない水分管理が可能となり、灌水ミスによる生育ムラを抑制でき、品質が向上することが判明した。
- ・ 輪菊の1作の生育期間（110日）で灌水作業に要する時間は、手動灌水では7～14.5時間かかるのに対し、日射比例灌水では設定する時間のみの1時間程度と大幅に削減できた。



現地検討会の様子

- ・ 夏場の晴天時の遮光管理下での照度は、LED照射区が6,000～9,000lux程度、無照射区が3,000～6,000lux程度で、LED区が慣行区の1.5～2倍程度となった。
- ・ LED照射により、着輪数が1輪程度増加した。
- ・ 苗購入時期による差はあるものの、5輪開花で判断した平均開花日は、LED照射区の方が1週間以上早くなった。



LED補光実証の様子

- ・ 来場者へのアンケート結果（79名回答）より、「重陽の節句」について、4年以上前から知っていると感じた方が22%と徐々にPR効果が出てきていると感じることができた。
- ・ コロナ禍でもあり、展示によるPR効果を最大限に引き出すため、公共施設を利用した結果、県庁、市役所、図書館とも多くの消費者に見てもらえることができた。また、一部マスコミでも取り上げてもらうことができた。



PR展示の様子

### < 今後の取組予定 >

- ・ 輪菊栽培における日射比例灌水設定のための安価で容易な土壌水分量把握方法を検証する。
- ・ ファレノプシス栽培における6月の曇天時期のLED照射が9月以降の出荷時の品質向上効果を検証する。
- ・ 新たな「もの日」を創出する場合、継続することが必要であるため、引き続きPR活動を実施していく。

## 熊本県花き協会（熊本県）

協議会構成団体： 熊本県経済農業協同組合連合会、県内11農業協同組合、熊本県花き園芸農業協同組合、熊本県花き事業協同組合、熊本県農林水産部、県内25市町村

### 戦略品目

切り花：宿根カスミソウ、トルコギキョウ



### < 取組内容 >

#### 3 需要の拡大

・ 中心商店街において花に触れることで、ひと時の癒しを感じるとともに、県産花きのアレンジメント制作を体験し、家庭で花を楽しむことにより、新たな需要を発掘する。

・ 小中高校生等を対象に戦略品目の県産花きを用いた花育教室を行い、若年層の新規需要の創出を目指す。

- ① 近隣の小・中学校、特別支援学校の児童・生徒を対象としたフラワーアレンジ教室の実施
- ② 小学生や高校生を県内市場に招き、フラワーアレンジ体験やフラワーコンテストの実施
- ③ 新成人となる専門学校・大学等の学生を対象に保護者へのフラワーアレンジ作成
- ④ 小中高生を対象に、福祉施設や仮設住宅等の入居者等へのフラワーアレンジ作成

### < 取組の成果 >

・ 2日間で120名が中心商店街でフラワーアレンジ制作体験を行い、アンケートの結果、88%の参加者が自分で好きな花を買ってアレンジを作りたいと回答した。

アンケートでは、「とても良い経験で、癒された」、「楽しく元気になった」、「夢中になれ、趣味にしたい」などの意見が寄せられた。



中心商店街でのアレンジ体験

・ 合計1,068名の小学生等が花育体験を行い、保護者に対する花きの購入頻度に関するアンケートの結果、花育体験後の花き購入が増えた家庭は21.3%だった。また、今後花きの購入を増やしたい家庭は68.8%だった。

また、参加者からは「花に興味を持った、花のことをもっと知りたい」、「また体験したい」、保護者からは「親子で癒された」、「これから花に触れる機会を増やしたい」などの意見が寄せられた。



小学校での花育体験

・ 中心市街地におけるアレンジ制作体験及び花育体験において、戦略品目の花きの生産状況と日持ち品質向上の取組みのPR及び県産花きの紹介、フラワーアレンジメントの実施方法のリーフレット配布などにより、戦略品目を始めとした県産花きに対する理解促進を図ることができた。



高校生フラワーコンテスト

### < 今後の取組予定 >

・ 小・中・高校生、専門学校や大学生を対象とした花育教室の開催を継続して実施するとともに、花きの購入意欲向上につながるよう、身近な場所での花きの展示やフラワーアレンジ体験等を通じて消費拡大のPRを行う。



## 大分県花き産業振興協議会 (大分県)

協議会構成団体： 大分県花き生産者協議会、(株)大分園芸花市場 丸果大分大同(株)、(株)別府花市場、(株)中津花市場、大分県花き消費拡大連合会、ジャパンフラワーネットワーク大分支部、花キュービット大分支部、日本フラワーデザイナー協会大分県支部、NPO夢一輪の会、フラワー装飾大分県技能士会、大分県華道協会、別府いけばな協会、県・農業団体

### 戦略品目

切り花：キク  
スイートピー  
ホオズキ



### < 取組内容 >

#### 3 需要の拡大

・ フラワーフェスティバルで戦略品目を中心とした花のイベントを行い、県産花きの消費拡大PRを行った。

また、若年層を対象としたアイテム提案、県の伝統行事である府内戦紙とのコラボや、花いけバトル、大人の花育教室を行い県産花きのPRを行った。

・ 2月14日「フラワーバレンタイン」に向けたPRとして県産スイートピーを中心としたフォトスポットを展示し、県産花きの消費拡大活動を行った。

#### 3 需要の拡大

・ 小学生を対象に、戦略品目を中心とした県産花きを用いた花育教室を行い、若年層の新規需要の創出を目指す。

- ①小学校での花アレンジメント展示(34校)
- ②押し花体験教室

### < 取組の成果 >

・ 大人の花育教室は今まであまり花を扱ったことのない人を対象にアレンジメント教室を行った。アンケートでは、参加者の8割が花を飾る頻度が増えたと回答。

・ 伝統行事である府内戦紙とのコラボで若年層の花きへの興味を集めた。また、仏花のイメージが強い輪ギクを、染色することで新たな商品提案を行った。

・ 当協議会メンバーを中心にフラワーバレンタインのPR活動を続けており、R3年は県内の2市が独自にフラワーバレンタインの取組を実施。



大人の花育教室



伝統行事とのコラボ



フラワーバレンタインフォトスポット (県内3ヶ所)

・ 小学校にアレンジメントを展示し、小学生に一番気に入った花の絵を描いてもらうという取組に、合計11,274名の児童が参加した。



小学生が花をスケッチしている様子

### < 今後の取組予定 >

- ・ 新たな需要の創出に向け、花木類の推進を図るため、ふかし技術の実証と種苗確保に向けた取組を実施する。
- ・ 2024年を見据え、輸送コストの削減に向けた出荷規格の検討等を行う。
- ・ 県産花きの消費拡大のため、新たな消費者層の確保に向けた取組を行う。

## 「みやざき花で彩る未来」推進協議会（宮崎県）

協議会構成団体： J A 宮崎経済連、宮崎県花き卸売市場連絡協議会、宮崎県花き生産者連合会、宮崎県 J A 花き協議会、宮崎県農産園芸課、宮崎県農業支援課

## 戦略品目

切り花： ラナンキュラス  
 スイートピー  
 キイチゴ

### < 取組内容 >

#### 1 生産供給体制の強化

- ・【ラナンキュラス】①球根の養成について腐食率の軽減を図り、高品質球根の安定生産体制が構築できるよう実証 ②細霧冷蔵を導入し、初期生育期間に高温遮熱を行い株の安定健全生育を促し、年内早期出荷率を高める効果を検証。
- ・【スイートピー】新染色の品種開発及びその技術の定着化について検討。
- ・【キイチゴ】苗供給方法および時期の検討を行い、安定した供給体制の構築に向けた検証。

#### 3 需要の拡大

- ・ 児童・生徒を対象に戦略品目の県産花きを使用した花育教室を開催し、生産者から県産花きの生産概要等を紹介。また、若い世代(20~40代)を中心に、YouTubeを活用したリモート環境下での「花育」を実施し、新たな消費者の拡大を図った。

### < 取組の成果 >

- ・【ラナンキュラス】
  - ①病害虫の発生には遮熱シートの利用も有効であるのではないかと考えられ、有効な資材について検証できた。
  - ②球根冷蔵時において球根腐敗の発生が多発し定植が遅れ、高温時期の細霧冷房の活用期間が短かったため、細霧冷房設置による効果が判然としなかった。
- ・【スイートピー】
  - 品種によって染色時間を変えることにより多様な花色を創出することができる。染色剤の組み合わせによっては、特徴的な色の発現が見られた。
- ・【キイチゴ】
  - 秋定植時にトンネル被覆にて越冬できることが判明し、苗供給体制としても初夏供給分を秋供給分へ分散させることができるため、供給体制の安定化に繋がると考えられる。



ラナンキュラス細霧冷房導入



スイートピー-染色技術強化



中学校での花育の様子

### < 今後の取組予定 >

- ・ラナンキュラスについては、①実証結果を踏まえ今後の生育状況・球根の肥大状況の継続調査を実施し、安定生産体制の構築を図る。②細霧冷房の稼働時間が温湿度にどの程度影響を与えるかを実施し、年内早期出荷率を高める。
- ・スイートピーについては、新染色の品種の需要ニーズを調査し、オリジナル品種の開発の有効性を検証する。
- ・キイチゴについては、育苗方法と定植時期の違いによるその後の生育について継続調査を行い、安定供給体制の構築を図る。
- ・SNS等の媒体を活用した「花育」の幅を広げ、若い世代への普及促進、「花のある生活」の提案を実施・継続する。



## 鹿児島県花き振興会 (鹿児島県)

協議会構成団体:

鹿児島県農協花き部会協議会, 鹿児島県スプレーギク研究会,  
(株)鹿児島園芸花市場, 鹿児島県花卉園芸農協, 沖永良部花き専門農協,  
JA鹿児島県経済連, 鹿児島県フラワー協会, 日本フラワーデザイナー協会鹿児島支部,  
フラワーパークかごしま, 鹿児島県農業開発総合センター, 鹿児島県フラワーセンター,  
鹿児島県農産園芸課

戦略品目

切り花: ソリダゴ



### < 取組内容 >

#### 2 流通の効率化・高度化

- ソリダゴについては、現在、縦箱・湿式（給水）輸送を行っているが、水漏れや高湿度による蒸れが原因の品質低下や、箱への入り数が少なく、流通コストがかかること等が課題となっている。
- そこで、鮮度保持フィルムを活用した横箱・乾式輸送の実証を行い、品質の維持・向上や流通コスト・廃棄物の削減効果を実証した。

現行の縦箱・湿式（給水）輸送



水揚げ剤が入った容器にソリダゴを入れて輸送

### < 取組の成果 >

- 鮮度保持フィルムを活用した横箱・乾式輸送の実証を行った結果、慣行の縦箱・湿式（給水）輸送と比べて、
  - ①品質・日持ちは同程度
  - ②流通コストが削減（1箱当たり24円の削減）
  - ③廃棄物（水揚げ剤が入っている容器）が削減
- また、横箱輸送の場合、慣行の縦箱と比べて、出荷用コンテナ（2.2m×2.2m×5.3m）に積載できる箱数が約1.5倍に増加

新たな出荷方法である横箱・乾式輸送



4時間以上水揚げ（水揚げ剤無し）し、鮮度保持フィルムで包んで箱詰め

### < 今後の取組予定 >

- ソリダゴでは、令和4年2月から鮮度保持フィルムを活用した横箱・乾式輸送を開始しており、今後、縦箱・湿式（給水）輸送から横箱・乾式輸送に全て移行する予定
- 令和4年度は、クルクマで横箱・乾式輸送を実証する予定